

会 議 録

会議名称	第6期幸区区民会議 第12回専門部会（魅力発信でつなぐ まちの活性化部会）
日 時	平成29年11月21日（火）18：30～19：40
会 場	幸区役所 4階第4会議室
出席者	●区民会議委員（50音順） 神谷修委員（部会長）、阿部稔子委員（副部会長）、伊藤善通委員、大野勝彦委員、佐野禎彦委員、中原敏子委員、成川慎一委員（全体会議委員長）、松井節子委員（全体会議副委員長） ●事務局 幸区役所 田村副区長 幸区役所まちづくり推進部企画課 岸課長、吉岡課長補佐、中村職員、安藤職員（株）社会空間研究所 中島氏、田上氏
欠席者	高橋希委員
傍聴者	1名
配布資料	●資料1 「魅力発信でつなぐ まちの活性化部会」調査審議スケジュールイメージ ●資料2 魅力の発信方法・主体について ●資料3 提言の素案 ●資料4 第6期区民会議フォーラム実施内容案 ●資料5 平成29年度区民会議意見交換会の開催について ●参考資料1 「第6期幸区区民会議」スケジュールについて ●参考資料2 第11回専門部会（魅力発信でつなぐ まちの活性化部会）会議録 ●参考資料3 第6期幸区区民会議委員・参与名簿
議 題	（1）魅力の発信方法の検討について （2）提言内容の検討について （3）フォーラム実施内容の検討について （4）区民会議意見交換会の開催について

決定事項	(1) 魅力の発信方法の検討について ・発信媒体や発信内容（コンテンツ）、発信場所、発信主体について意見交換を行い、出された意見を提言内容に反映させることとした。 (2) 提言内容の検討について ・提言の内容に関する過不足などについて意見交換を行い、出された意見を提言内容に反映させることとした。 (3) フォーラム実施内容の検討について ・基本的に事務局案のとおり行うこととし、詳細は次回以降検討することとした。 (4) 区民会議意見交換会の開催について ・伊藤委員が参加に立候補した。その他の参加者については、まず A 部会にも同様に諮った上で、正副委員長、各部会の正副部会長とともに調整することとした。
会議の内容 及び 主な発言	●事務局より会議資料を確認。 ●事務局より今後のスケジュールについて資料 1 を確認。 (1) 魅力の発信方法の検討について ●事務局より資料 2「魅力の発信方法と主体について」説明した。 ○資料 2 をもとに、発信媒体や発信内容（コンテンツ）、発信場所、発信主体について意見交換を行った。 ○出された意見を提言内容に反映させることとした。 〈主な意見〉 ・夢見ヶ崎動物公園の良い所を今まで話してきたが、そこも含めて周りにどういうもの、施設があるのか、夢見ヶ崎動物公園の周辺施設の魅力や、ちょっと変わった、美味しいお店の紹介もしていくとよいのではないかな。歴史であれば、庚申塔があって、「庚申塔のところでこういう行事をしている」とか、意味や歴史を含めて入れられると一緒に回って見られる。その一つの案として、大野委員のホタルも見に行けるというのも発信する情報に入れられると広がるのではないかな。 ・発信方法と発信媒体の話になるが、10 月 12 日の夢見ヶ崎動物公園の秋の動物園まつりで受付のお手伝いをしたが、そこに市の総務企画局 ICT 推進課の方が見えていた。総合案内所で「かわさきイベントアプリ」が載ったチラシを配っていた。すぐにダウンロードが出来て、川崎市 7 区全体のイベントとテーマごとに検索できる。前回、タウンニュースという話があったが、誌面にも限りがある。こういうアプリに登録出来れば、イベントを早く知らせることが出来る。この場でこういうアプリがある事をお知らせしたい。 ・発信方法で、SNS や紙媒体の両方を活用するという事で、タウンニュースの

ような民間のイベントインフォメーションシステムと、私達のようなボランティア団体との連携は無かったと思うので、期待したいと思っている。私も文化協会の中で「文化さいわい」というものを作っているが、ノウハウが違おうと思う。発信しても一般に浸透しないし、出している割には、見ていただけない部分があるので、民間の方のテコ入れが入ったら良いと思う。文化協会で文化祭があったが、来場者がすごく少なかった。同じ日に夢見ヶ崎動物公園のお祭りがあった。文化協会は SNS 等の取組を全然行っていないので、そういった情報を行っているような新しく立ち上げている団体と差が出てしまう。イベントの設定方法も同じ日にならないように幸区内で出来れば良いと思う。

- ・何も知らない素人集団だけでなく、その道にノウハウのある人に入っていたくのが、良い方法だと思っている。子育て支援でも、おこさまっぷの内容を見ると子育て支援の行事がきめ細かに組まれているのが載っているが、皆さんに伝えるには足りないと思う。
- ・川崎区と幸区をまたぐ 17 のイベントを紹介する時に、東京新聞 TODAY という業者に入っていて、東京新聞 TODAY に掲載してもらい、QR コードを付けてもらうという方法をとったことがある。タウンニュースや東京新聞 TODAY、ミニコミ誌を作っている方達を入れて実行委員会形式で発信スタイルを作り上げていき、その中に行政も入っていて、行政がやっているホームページなどにも掲載すれば、地域の皆さんに広く伝わる。
- ・東京新聞 TODAY というのは、学校に全校配布をしている。誌面は子どものスポーツの大会がメインだが、良いと思う。
- ・幸区で誰でもカフェという月に 1 回、金曜日に 1 杯 100 円でコーヒーが飲めるイベントを行っている。とても良いイベントで、参加されておしゃべりをすると思うが、何人来たのか尋ねてみたら 20 人という回答だった。良い企画であっても、浸透させていくことは難しい。阿部副部会長が所属している子育て団体の活動は、浸透していると思う。

（２）提言内容の検討について

- 事務局より資料 3「提言の素案」について説明した。
- 提言の内容に関する過不足などについて意見交換を行った。
- 出された意見を提言内容に反映させることとした。

〈主な意見〉

- ・資料 2 の 2 ページ目の「今後の活動として、有志を集めて魅力を常に更新して、情報を発信する継続的な組織を作る必要があるのではないか」という表現が非常に良いと思われる。提言 3 の四角の枠のところは、少し抽象的ではないか。

行政としては、提言の主文に組織作りを入れたくないのかもしれないが、常に更新した新しいタイムリーな情報が組織化することで継続的に発信できるというポイントが凝縮された文言で入れたほうが良いのではないかと。

地域と行政の協働を認知させるような形で、提言 1、2 と同じくらいのボリュームで書いていただききたい。

- ・【魅力の発信主体について】の 2 つ目の「子育て関係の人」というのが抽象的なので、文言を工夫して、文章とリンクさせるようにしてほしい。

- ・発信組織は、実際作れるのか。

⇒（事務局） 民間の力次第だと思う。行政としては当然関わっていくが、民間の組織体まで作れるかどうか。情報発信を行うという形になる可能性はあるし、支援する事は出来るが組織を作る事は無い。

- ・それでは、誰がつくるのか、どこかに委託するか。実現するかどうかは提言 3 にかかっている、肝だと思う。継続的に組織を作っていくかどうかにかかっている。

⇒（事務局） おこさまっぷに、紹介していただいたような子育て支援の団体が沢山あり、取組をしている団体の資源も幸区にはあるので、そのような方達と行政が間に入って、組織体にしていく支援はできると思う。公が半永久的に委託していくことは難しい。民間の力で士気を高めていく中で、立ち上がりの際は行政も関わるが、形になって、その組織が育っていったらいいと思う。この方向性を出していただくと先につながっていくように思う。

- ・我々が出したものを行政主導で行っていただきたい。市政だよりも区版があるので活用したり、1 回はまとめて冊子をつくる。広報モニターのような形で、ボランティアで募って、事務局は行政で、予算をとって、定期的に更新していく。他にもやりたい人はいると思う。

- ・SNS を自分でも登録しているので、いろいろみているが、区内の人達が SNS を見て動いている。新川崎の鹿島田のプチマルシェなど、情報発信している人達はいる。そういう方々と接点を持ちながら、どういう形で組織化するのが良いのか。がっちりと組織化をすると、もう少し柔らかくつながっていきうということがあるので、お話を伺いながらその人達と調整をしながら考えていくのが良いのではないかと考えている。

- ・おこさまっぷを出している組織は、どのように出来上がったのか。

⇒（事務局） 行政主導で編集委員を募って出来上がった。民間の方の力でやるのが、地域に受け入れられていく最大の方法だと思う。

- ・いろんな面で情報発信している方が数多くいらっしゃるの、そういう方達とつながって、実行委員会形式で情報発信をする実働部隊を作っていただければと思う。

(3) フォーラム実施内容の検討について

●事務局より資料4について説明した。

○基本的に事務局案のとおり行うこととし、詳細は次回以降検討することとした。

〈説明の概要〉

- ・市民活動交流イベントと合わせて3月3日の土曜日、13時から16時に開催する。区民会議の部会の報告とそれに対する質疑、活動の紹介と今までやったヒアリングの結果と5期までの提言と提言に基づく取組の紹介。
- ・今後のコミュニティ施策における「新たな仕組み」の構築に向けたシール投票を行う。

〈主な意見〉

- ・2年前も同じような形で実施して、人の集まりは悪かった。「さいわいみんなの交流広場」も参加団体が多くなって、参加者は少ないのだが、発表時間が朝から過密スケジュールだと思う。フォーラムの方が1時間ぐらいなら一番良い時間帯で出来るのではないかと思う。
- ・2年前の区民会議の時は、発表は1階でおこなった。今回は何団体が参加するのか。
 - ⇒ 今回は、30 団体が参加して、ステージでの発表は、10 団体で、ほとんどが展示だった。
 - ⇒ 昨年は区役所正面入口に入って左側を喫茶室のようにしていた。ステージは北側の出入口付近に設置をしていた。
- ・ステージでの発表は、区民会議だけでなく、いくつかの団体が行う。
- ・発表時間は15分くらいで、ブースは10時からずっとやるのか。
 - ⇒ (事務局) ブースは10時からで、皆さんに参加いただくのは13時から16時の間になる。
- ・13時から16時の間のどの1時間かは、これから決まるのか。
 - ⇒ (事務局) そのように考えている。
- ・2年前はステージの前に段があって、ステージの上に委員長と副会長の二人が座って発表して、前に20～30人座れる椅子を置いてあったが、今回のステージは、発表するテーブルと向かい合って、聴衆が座る席もあるのか。
 - ⇒ (事務局) 基本的には前回と同じ形式で行うことで考えている。
- ・今回シール投票を行うが、今後のコミュニティ施策における新たな仕組みの構築に向けた内容を検討するのは難しくないか。
 - ⇒ (事務局) 2月2日に意見交換会を行う。その場で、これまでの区民会議の

総括の話と「新たな仕組み」づくりに向けての方向性について行うので、その日に参加した方がいれば、その延長線上でアイデアを得られればという仮定の話になるが、幸区のシール投票を実施する。中身づくりについては、詳細は今後検討をしていく。実施はマストではない。

(4) 区民会議意見交換会の開催について

●事務局より資料 5 について説明した。

○伊藤委員が参加に立候補した。

○その他の参加者については、まず A 部会にも同様に諮った上で、正副委員長、各部会の正副部会長とともに調整することとした。

〈説明の概要〉

- ・平成 30 年 2 月 2 日（金）18:00～20:30 に開催する。場所は、エポックなかはらの 7 階大会議室。意見交換会の内容としては、ワークショップと事前アンケートを実施し、意見交換会の内容にも反映させる。
- ・事前アンケートは第 6 期区民会議の各委員と第 5 期までの正副委員長・正副部会長に依頼をする予定。参加者は、6 期の各区民会議委員に 6 名程度の形で参加のお願いをしたい。行政は市民文化局、各区役所企画課の職員が参加。積極的な集客は行わないが、傍聴は可能とする。

(5) その他

●事務局より、「市民車座集会開催」のお知らせの告知を行った。

〈説明の概要〉

- ・行政の方で「川崎市総合計画第 2 期実施計画」並びに「行財政改革第 2 期プログラム」の素案を策定していて、11 月の下旬に公表される。それを受けて、12 月 16 日の土曜日に「市民車座集会」を開催する。
- ・場所は、麻生市民館と中原区役所で開催。
- ・その場で市長に質問等があれば、事前に質問を提出していただき、意見交換をする。

以上